

急ぎ過ぎだよ 人類は。

ゆるやかなネットワークを目指す

ITより
逢いてエ

雑報 綴文

いろいろ差之があるから面白い
いろいろ人がいるから楽しい

No. 653
2023年 6月

編集・発行 鈴木厚正
〒266-0005 千葉市緑区菅田町2-21-359
T&F 043-291-2917

も・く・じ

- 『モンテレッジオ小さな村の旅する
本屋の物語』に突っ 2 尺
- 国民国家について 6
- 福一吉田元所長の犯した課題考察 8
- 「沖縄書かれたくなかった戦後史」 12
- お便りから 16
- 長寿の鍵交流にあり? 25
- ケ・い・じ・ば・ん 26



※3月迄で不明の方が
10名ほどおられるので。この見本誌をみて新たに

泉ゆきを『じはいつも山頭火』
(日本習字普及協会)

6月1日現在の
会員数 ? 名

「読んでみようか」という方は、
年会費 4,000円を

郵便局で 00100-2-20630
「雑報友の会」
へ 掛い込んで下さい。

題 字 故 佐村隆英和尚 (千葉県長柄町本光寺住職)
カ ッ ト 故 泉ゆきをさん (にっぽん箱絵の会会長)

印刷機 リソグラフ RZ 330

※この号の切手は G7 広島サミット。



山仕事(5月、大平)

ぼくはめったに風邪をひかない。だが、今回は異常ではなかった。4月の末寒さみパーテから戻ってすぐ、発症した。のどの痛み、咳、鼻水に痰。熱は出なかったが、これまでの風邪とは一段格上の感じだった。もちろん医院に行かず薬ものまのみし自癒もしなかったが、どうやら治まったのは山仕事に行く直前だった。

行った先で、ぼくだけではないことを知った。原田さん、久米さんに竹中さん。竹中さんは肺炎にまで進んだという。久米さんはPCR検査で陰性だったそうだが、一体何だったろう。その後、正士さんもBかしくなった。

5月11日(木)、晴。6時起床。新聞を読み始めたら、地震。ゆれ具合いで震度3と判断し、新聞読みを続けた。しかし、ラジオでは木更津で震度5強という。列車ダイヤが乱れる恐れがある。舟屋さんから山崎さんを通じてメールが来た。いつもより早業を出て、東京9:27発のこだまにのった。

弁当を買ったまがなかったため、いつもより早く着いた掛川駅の居酒屋でミニ海鮮丼セット1188円。ソバが竹いているが、正士さんのソバには及ぶ訳がない。

天浜線で伊藤康江、三宅伊都子、原田、山崎さんと合流。敷地駅で正士さんと久ぶり参加の古橋さんに迎えられた。

揃って、深澤明男・富士代さんの豊田農場へ。ミカン園の改植が進み、全体に樹高が低くなっている。

ミカンの花は大方咲き終ったところ。樹の下はナギナタカヤが茂り、その多くはもう倒れている。牧草のイタリアライグラスを小型にしたようなこの草は、春先、雑草の発生を抑え、倒伏するヒヤがて有機質肥料となる。そのため除草剤や肥料を節約できる。このあと、ピンポン球くらいになった実を、混んだところは摘果する作業が待っている。



明男さん 富士代さん

こうした手をかけた深澤さんのミカンは、甘酸相和して評判がよく、常連客の注文に応じられないことがある。幸い今季は出来がよさそうだ。

康江、久米、三宅、古橋さんが買物組。残る男性は^{いた}家田の田んぼ①と近いソバ畑②の草刈りへ。

(夕食)刺身(イナダ、タイ)、白菜キムチのマカロニサラダ、青山さんの原木シイタケ、スナガエンドウ、ニンジンのシリシリ、シラスと大根おろし、三宅さん土産の



シマイ、ジャガイモとサバ缶のオリーブオイル炒め、
キュウリの即席漬けにスぱりの正士さんの手打ソバ
(群馬産のみたち秋ソバ)と、ス米さんのだしとが之
しでいただく。

加えて、内田美智子さんのお饅頭と古橋さん
からサッポロビール静岡工場の新製品が。

宴席に青山忠義さんが参加。康江画伯が描いた
肖像画が贈呈され、ご満悦。(カメラ:正士さん)



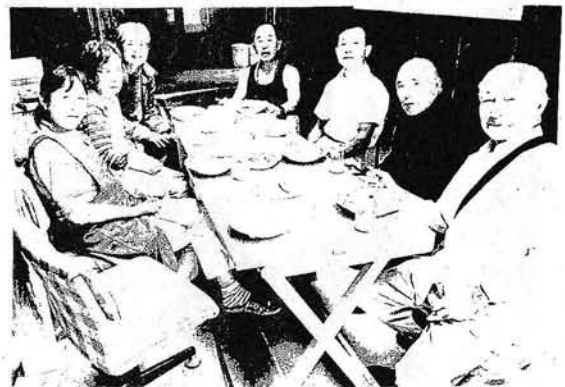
5月2日(金)、晴。ス米さんが新調の刈払機(ゼリア
の軽量タイプ)を持って加わり、坂上賢一さんの柿園③の
草刈り。

続いて、東垂れ④
に生えてきた竹の子
の整理。ついでに
着工するための竹
を採取。その間、
英ちゃんはトリマー
を使ってツツジの
剪定。終ってふんでツツジの下にまぐりにみ、ササ、
クズやアケビなどのつるを整理。



(昼)長崎田んぼん、ジャガイモカレー風味、とりから。
康江さん84歳の誕生日に、青山さんがス米さん
に頼んで買って来てもらったケーキで、ハッピー
バースデー。⑤

午後ス米さんが加わり、桶現谷(ツツジや、
戦いに敗けた家康が逃げこんだという小さな沢)



の草刈り。その脇に正士さんが敷地駅まで送って、三宅さんが帰宅。



続いて桶ヶ沢④の草刈り。これは、半分で時間切れ。
 (夕)、春子さん(正士さんのお母さん)と青山さん交えて、
 とりももの照り焼き、キムチと厚揚げ煮、セロリと
 キュウリのサラダ、塩茹でソラメ、ジャガイモの明太子
 炒り、アスパラの肉まき。この夜も正士さんの手打ち
 ソバと久米さんのだしをかえして。

英ちゃんのケーナで合唱。お母さんは週1回のデイサービスよりこちらの方が楽しそう。大勢と一緒にの方が食欲も出るようだ。

5月13日(土)、くもり時々小雨。山ちゃん朝帰り。
 雨を避け軒下で久米さん、英ちゃんヒヨウの着っ
 くり。以前作った銘々着が、なぜか正月過ぎ
 に無くなってしまったのだ。



(昼)、お母さんの95歳の誕生祝い
 かねて厨房で。

こちら寿司、稲荷寿司、生ハムサ
 ラダ、玉子とレタスのスープ、長芋ステ
 ーキにロールケーキ。

食後、敷地駅まで正士、久米さんに

送られ帰宅。別れ際、お母さんが「淋くなるよ」と。

次回、6月4~6日。中日には水窪の昔乙女も参加の子定。



康江え 久米え 三宅え (11日の厨房)

11日夜の交流風景